

貯法	気密容器 しゃ光保存
----	---------------

承認指令書番号	農林水産省指令 23 動薬第 788 号
販売開始	1964 年 2 月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。  
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

### 動物用医薬品

## メチオニン・ビタミン注射剤

# チオピタン<sup>®</sup>C

## THIOVITAN<sup>®</sup>C

肝臓は体内における最大の代謝器官であり、様々な化学反応の行われる重要な所です。従って、肝臓は体内外からくる毒物を中和し、伝染病からの障害を防ぐ等、各種の化学的作用を行うと共に胆汁を分泌します。よって、肝臓の機能が低下すると代謝は阻害され、ついには栄養障害におちいります。

本剤は、強肝作用の強いメチオニンを主成分に、これと協力して体内代謝に役立つビタミンB<sub>1</sub>をはじめとするB群を加えた、中毒時の補助療法、疲労時の栄養補給に役立つ配合の注射剤です。

### 【成分及び分量】

本剤 1 mL 中	
D L-メチオニン	10 mg
チアミン硝化物	300 μg
リボフラビンリン酸エステルナトリウム	60 μg
ピリドキシン塩酸塩	300 μg
アスコルビン酸 (安定剤)	2 mg
ブドウ糖 (無痛化剤)	5 mg

### 【効能又は効果】

栄養補給、中毒時の補助療法

### 【用法及び用量】

牛、馬、めん山羊、豚、犬、猫、鶏：

体重 1 kg 当たり、0.5 ～ 1.0 mL を 1 日 1 ～ 2 回、静脈内、皮下又は筋肉内に注射する。

### 【使用上の注意】

#### (基本的事項)

- 守らなければならないこと  
(一般的注意)
  - 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
  - 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
  - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (取扱い及び廃棄のための注意)
  - 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
  - 本剤の外袋に穴が開いていたり、ソフトバックから液漏れが認められた場合は使用しないこと。
  - 本剤は他の薬剤と混合して使用しないこと。
  - 本剤を分割使用する場合は速やかに使用すること。
  - ソフトバックの本剤の外袋を開封したものはできるだけ速やかに使用することとし、開封後 3 カ月を経過したものは使用しないこと。
  - 本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
  - ソフトバックは、液漏れの原因になるので鋭利なもの等で傷つけないこと。
  - ソフトバックに注射針を刺すときは、ゴム栓の刻印部にまっすぐに刺通すること。斜めに刺すと、側壁を刺通し液漏れの原因になることがあるので注意すること。
  - 注射器具は滅菌されたものを使用すること。
  - 注射針は必ず 1 頭ごとに取りかえること。
  - 小児の手の届かないところに保管すること。
  - 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。

- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
2. 使用に際して気を付けること  
(使用者に対する注意)
- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
  - ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。
- (対象動物に関する注意)
- ・筋肉内注射を行う場合、注射針が血管内に入っていないことを確認して投与すること。
  - ・静脈内投与を行う場合、注射針が血管内に確実に入っていることを確認して、ゆるやかに投与すること。
  - ・本剤の投与によると思われる副作用もしくは過敏症状があらわれた場合には、投与を中止すること。
  - ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

#### 【有効期間】

18 カ月

#### 【包装】

500 mL × 12 本 (ガラスバイアル)

#### 【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社  
〒193-0942 東京都八王子市柵田町1211  
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



**フジタ製薬株式会社**

東京都品川区上大崎2丁目13番2号  
<http://www.fujita-pharm.co.jp>

**FUJITA PHARM**